

# 公益社団法人大阪市シルバー人材センター 平成26年度事業計画

## I 基本方針

わが国の社会経済状況は、新政権のもとデフレ経済の脱却を目指して、いわゆるアベノミクスといわれる経済、財政・金融政策により大企業を中心として、経済がゆるやかに復調しつつとあるとされているが、本年4月からの消費税率の8%への引上げに伴う景気の減速が懸念されるなど、先行きは不透明となっている。

一方、わが国の少子高齢化はますます進展し、日本の高度成長経済を牽引してきたいわゆる「団塊の世代」と呼ばれる世代が毎年約100万人ずつ順次満65歳に達し、2015年にはすべての団塊の世代の人たちが前期高齢者（65歳～74歳）の仲間入りすることとなっている。これまで、日本経済や社会保障制度を支えてきた団塊の世代が、支えられる側になるということから今後の社会補償費等の増大が懸念されている。

しかしながら、団塊の世代の人は、これまで社会の様々な分野で活躍してきた経験を生かして活動しようとする意欲や消費意欲についても旺盛であり、今後の超高齢社会を先導する役割と就業や社会参加活動における貢献が期待されている。

そのため「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと「福祉の受け手から」「社会の担い手」となり地域社会に貢献していくことを目標に事業を推進するシルバー人材センター事業の果たす役割と期待はますます大きくなるものと考えられる。

シルバー人材センターとしては、より一層の普及啓発活動の推進を図り、請負・委任による受託事業、一般労働者派遣事業の就業開拓に加えて、福祉家事援助サービス、子育て支援事業、訪問介護事業の受注拡大に努め、企画提案事業や地域ニーズ対応事業による市民サービスのための事業や就業機会の拡大を図り、シルバー人材センター事業の拡充・推進に努める。

また、会員の就業については「安全就業」が最優先課題となるため、安心して就業できるよう安全パトロールの強化や安全講習会を充実させ「安全就業」を徹底しつつ、会員同士で仕事を分かち合うローテーション就業を推進し「適正就業」に積極的に取り組む。

さらに、就業提供の迅速化や会員の技能・スキル向上のための技能講習会や接遇研修会の充実に取り組むとともに、センターの財政基盤の充実や効率的な事業運営、組織・制度の見直しなど会員・役職員相互が連携をはかり円滑な事業推進に努める。

## II シルバー人材センター事業（公益目的事業）

### 1. 就業開拓提供事業

高齢者が自らの能力や希望に応じ、一人でも多くの会員の就業機会の確保ができるよう、地方公共団体・企業・事業所・家庭からの就業ニーズの的確な把握に努め、就業開拓や需給調整に努め就業機会の拡大を図る。

- (1) 各事務所に配置している就業機会開拓推進員を増強し、多方面にわたる企業訪問を行い新たな就業先の開拓を推進する。
- (2) 就業会員意見交換会を開催し、就業会員の経験や意見を基に就業開拓に努める。
- (3) 植木剪定班、毛筆筆耕班、除草グループ等における会員の連携強化を図り、自主的活動を推進し、地域における就業先の開拓を推進する。
- (4) 役職員が、地方自治法施行令に規定された「随意契約による役務提供が可能な団体」として、地方公共団体等への就業開拓を推進する。
- (5) 民間企業の既存の発注先や過去に契約のあった発注先に対して、新たな職種の開拓や増員要請を行い就業開拓を推進する。
- (6) 公共受注の指定管理者や入札の落札業者を訪問し、就業開拓活動を推進する。
- (7) 一般労働者派遣事業のPRを推進し、新たな就業先の開拓活動を推進する。
- (8) 職業紹介事業の推進を強化し、新たな就業先の開拓活動を推進する。
- (9) 会員相互によるローテーション就業の推進によりワークシェアリングを拡大し、より多くの会員への就業機会の提供に努める。
- (10) 地方自治体が導入予定の地域人づくり事業に参画して、就業開拓に努める。

### 2. 普及啓発事業

シルバー人材センター事業の充実・発展を目指すため、市域全域で効率的かつ効果的な普及啓発活動を推進するため、公共機関窓口や各種のイベント、マスメディアなどを通じて効果的な普及啓発活動を推進する。

- (1) ハローワーク、区役所・保健福祉センター・図書館などの公共機関窓口等へのパンフレットやチラシの常置を依頼し、普及啓発活動に努めるとともに新たな会員の入会促進に努める。
- (2) 毎年10月の普及啓発月間における普及啓発の一環として、各区が行うイベント等に参加し、センター事業の普及啓発に努めるとともに、新たな会員の入会促進に努める。
- (3) インターネットのホームページを活用した普及啓発を推進する。
- (4) 市内各戸を対象とした、会員自らによる啓発パンフレットの配布を行い、新たな会員の入会促進を図り、また、仕事の開拓の推進に努めるため、センター事業の普及啓発を推進する。

- (5) 大シ協や他都市シルバー人材センターと連携した普及啓発を推進する。
- (6) 各事務所単位でボランティア活動を企画し、公共性の高い団体として普及啓発を推進する。
- (7) センター機関誌「シルバーみおつくし」を公共機関や会員に配布して普及啓発を行う。
- (8) 当センター設立30周年の節目にあたり、センター機関誌「シルバーみおつくし記念号」を発行し、関係機関に配布して普及啓発を行う。

### 3. 企画提案事業・地域ニーズ対応事業及び独自事業

社会における『教育』『子育て』『介護』『環境』の重点分野の需要や地域社会のニーズに対して、大阪市等の地方自治体が策定する計画に沿って、高齢者が支えられる側から、地域の担い手として当センター会員の経験や技能などを活かした事業を企画・提案するとともに事業を推進し、センター事業の普及啓発と各種講座の開催や就業機会の確保に努める。

- (1) 高齢者世帯を対象に電球の取り替え、水道パッキンの取り替え、家具等の移動などの短時間の仕事をワンコインで請負う事業を行い、高齢者世帯の生活を支援する事業を推進する。
- (2) 高齢者がいつまでも快適に暮らせるよう、日頃は行き届かない清掃（台所・洗面所・風呂場・トイレ）などを専門に清掃するクリーニングサービス及び入院時などの衣類の洗濯や買物代行サービスを推進する。
- (3) 介護保険の介護認定等の見直しにより、利用者が希望する介護サービスが介護保険の適用範囲を超過する利用者を対象に、介護保険の対象とはならない福祉・家事援助サービスを提供して補完する体制を拡充し、高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるサービス提供を目指す。
- (4) 市内の居宅介護支援事業所や病院を訪問し、高齢者の日常生活で困っている高齢者に対して支援を行うため、高齢者のニーズを掌握し通院介助や付添などを的確に対応するため事業を推進する。
- (5) 市内の老人ホームや高齢者施設の事業所などの協力を得て、家庭・施設などで通所の手伝いや話し相手、部屋の片づけなど地域の高齢者の支援を実施する。
- (6) 高齢者及び介護家庭を対象とした、軽微な住宅の補修・外出の際のサポート・庭の整理作業や介護家庭等の身の回りのサポートを行うとともに、高齢者福祉サービス講座を開催し、高齢者福祉サービス提供会員を養成する。
- (7) 福祉施設の車両等の送迎者を養成するため、高齢者運転講習会や福祉車両安全講習会を開催し、送迎事業の拡大に努めるとともに就業機会の拡大を推進する。

- (8) 依頼者の希望に応じて定期的に一人暮らしの高齢者宅を訪問し、安否確認を実施するとともに家庭内外の掃除やゴミ出しや話し相手などのサービスを推進し、地域の高齢者とのコミュニケーションの拡大を図る。
- (9) 子育て世帯を対象に育児指導・家庭育児サービスへの従事を希望する会員を対象に子育て支援講座を開催し、育児指導・家庭育児サービス提供会員を養成する。
- (10) センターの独自事業である阿波座センタービル地下駐車場の運営について、収支の改善に努める。

#### 4. 研修・講習会事業

会員の就業機会の拡大を図るためには、会員一人ひとりの技能の向上・習得や資質の向上が不可欠であるためより就業に結びつく講習会を開催する。

- (1) センター会員の資質の向上と良質なサービスの提供を図るため、就業会員を優先対象とし「個人情報の保護」「人権擁護」「接遇」を包括した「就業会員研修」を開催する。
- (2) 植木剪定班や毛筆筆耕班、除草グループによる職群班員の技術向上を目的とする講習会・勉強会の開催及び講習会の充実を図る。
- (3) 高齢者福祉介護サービス講座、子育て支援講座、パソコン講習会などより市民生活に密着したさまざまなサービスに携わる就業会員の養成に向けた講習会を開催する。
- (4) 会員一人ひとりの技能の習得や資質の向上のため、また、会員加入を目的とした市民が参加できる講習会の整備を図る。

#### 5. 相談事業

センター事業の持続的な成長のために、センター事業の理念に賛同する働く意欲と豊富な知識や技能を持った会員の確保に努める。

- (1) 入会希望者や市民にセンター事業のしくみや事業趣旨を正しく理解してもらうため各事務所窓口において相談業務を行うとともに入会説明会を開催して、会員の加入促進を図る。
- (2) ハローワーク、市役所・区役所などの関係機関との連携を強化し、会員加入の勧奨チラシの常置を通じて、加入促進を図る。
- (3) 会員による市内各戸の家庭や事業所などへの入会勧奨チラシの配布を通じて、会員加入の促進を図る。
- (4) 府内の高齢者を対象としたシニアワークプログラム事業と連携し、有技能高齢者の加入促進及び育成に努める。
- (5) 行政機関等との連携を深めて情報を収集し、研修会、講習会などあらゆる機会を

通じて情報を提供する。

- (6) 全シ協ホームページの就業支援システム「シルバーしごとネット」や他都市シルバー人材センターのホームページと連携し、センター事業の情報提供を行う。

## 6. 安全・適正就業推進事業

会員の就業中や就業途上における事故防止を図るため、安全委員会活動の充実による意識啓発を図るとともに、ローテーション就業によるワークシェアリングの推進、一般労働者派遣事業の推進による適正就業の推進に努める。

- (1) 安全委員が策定した安全就業推進実施計画に基づき、安全パトロールや安全研修会を通じて、事故防止のための安全就業啓発活動を推進する。
- (2) 「反射会員証ケース」、「安全就業啓発ワッペン」、「センターの反射腕章」などの就業時の着装を奨励し、就業会員の安全就業意識の啓発に努める。
- (3) 就業中や途上事故の防止のために、就業会員を対象として、警察及び関係団体等の協力を得て「交通安全・健康管理研修会」を開催し、交通事故の防止および健康管理の啓発に努める。
- (4) 入会説明会や就業提供時において「会員のてびき」「安全就業チラシ」などを配布し、安全就業の意識啓発に努める。
- (5) 事故発生情報や健康管理に関する情報をセンター機関誌に掲載するとともに、各種講習会や事務所受付等で情報を随時提供し、会員の安全意識の向上を図る。
- (6) センターの安全就業の標語「元気に出かけて 笑顔で帰ろう いつも心に安全意識」を活用し、あらゆる機会を通じて安全就業意識の啓発を図る。
- (7) 契約先の就業内容を再点検を実施し、安全・適正就業の推進に努める。

## 7. 訪問介護事業

訪問介護・介護予防訪問介護事業をさらに充実し、会員の就業機会の拡大と市民生活サービスの拡充に努める。

- (1) 訪問介護事業をより多くの市民に認知してもらうために訪問介護事業所チラシ及び訪問介護員募集のチラシ配布などを通じて、訪問介護事業の普及啓発に努める。
- (2) 訪問介護サービスの質を向上させるため、訪問介護員を対象とした研修会及びヘルパー会議の充実を図る。
- (3) 訪問介護事業の拡大を目指し、地域包括支援センターや居宅サービス事業者などの保健医療・福祉サービス提供者との連携強化に努める。

## 8. 職業紹介事業

雇用による就業を希望する高齢者に対して相談業務の充実を図り、有料による職業紹介事業を推進する。

- (1) 平成26年度から導入される有償による職業紹介事業の体制整備を行い、適正な職業紹介事業を実施する。
- (2) ハローワークをはじめとする職業相談・紹介機関との連携を深めるとともに、府・市が共催するハローステップ就職応援プラザに参加し職業紹介事業の推進に努める。
- (3) センター事務所窓口の相談体制を拡充し、職業紹介事業を行う。

## 9. 一般労働者派遣事業

- (1) 請負・委任による就業になじまない受注については、一般労働者派遣事業による就業を提供し派遣事業の事業拡大と適正就業の推進を図る。

### Ⅲ 管理部門

#### 1. 会員拡大

定年延長や継続雇用の拡大などの労働雇用環境の変化に伴い会員数が伸び悩み傾向にあるものの、いわゆる団塊の世代が順次65歳に達し高齢者人口の絶対数が増加することから、センター事業のPRに努め会員の拡大を図る。

	平成24年度末	10,523人
会員数	平成25年度末	10,373人
	平成26年度（予定）	11,000人

#### 2. 組織体制の充実強化

- (1) 平成24年4月1日付けで公益社団法人に移行し、適正かつ厳格な事業運営が求められているため、一層の組織体制の充実強化に取り組む。
- (2) 会員による自主的な活動を促進するため職群班の拡充及び地域班活動の基盤整備に努める。
- (3) 就業提供の迅速化や的確な情報管理のために業務管理システムの運用体制の整備を図る。
- (4) 災害時等に対応するための事業継続体制の整備について検討を進める。

#### 3. 財政基盤の拡充

- (1) センター事業の永続的な運営体制の確立には財政基盤の安定が必要であるため、受注拡大に伴う事務費収入の拡大と財政規律の遵守に努めるとともに財政基盤の安定化を図る。
- (2) 会員自らによる就業開拓に努め、契約額の拡大に努めるとともに、会費や事務費の見直し及び資金回転の改善に努める。
- (3) 消費税率の改定に伴う増税など、より厳しい財政運営を求められることから経費の節減及び一層の予算の効率的な執行に努め、財政の健全化を図る。
- (4) 賛助会員の募集に努め、賛助会費の獲得に努める。